

来週の「売り物」記事はこれ



2014年10月31日号

毎日新聞東京本社 編集局・販促宣伝部

世界のSUDOKU30年

[数独]生みの親 破天荒航路

11月2日(日)



世界的に権威のあるオックスフォード英語辞典に、日本発の「言葉」が掲載されました。それは「SUDOKU」です。縦横9列にマス目に重複させないように数字を入れ込んでいく日本生まれのパズルが、世界的に認知されていることを示すものでした。今年はその「数独」が誕生して30年を迎えます。考案者はパズル制作会社社長の鍛冶真起

8	7	1	5					
	2	4		9				
9	3					7	4	
8		1	4				6	
	6			1				
7		9	3				8	
2	4					1	5	
	7	5		3				
5	8	7	4					

(まき)さん(63)です。高校時代はテニスに熱中し、国体8位になったことも。その後、放浪の時代を経て、たどりついたのがパズルでした。モットーは「当たって砕けろ」、そして「人生に無駄なし」。その一方で、「酒とタバコの日々」を愛し、自ら「非常勤社長」を名乗るように、あっちへふらふら、こっちへふらふらの日々。パイオニアの破天荒な日々に着目、世界中の人たちを夢中にさせるパズル誕生の秘密に迫りました。

日曜朝は『S』で始まる——。ストーリーにご期待ください。

長期連載「戦後70年に向けて」の第5シリーズ

「五輪の哲人 大島鎌吉(けんきち)物語」

朝刊2面 11月4日(火)から



朝刊2面の長期連載「戦後70年に向けて」の第5シリーズ「五輪の哲人 大島鎌吉(けんきち)物語」が4日から始まります。大島氏は戦前のロサンゼルス五輪で陸上三段跳びの銅メダルを獲得し、毎日新聞に入社後はベルリン特派員や運動記者、1964年東京五輪では日本選手団長を務めました。晩年には反戦運動にも力を注いだ人物の半生を描きます。担当は運動部の滝口隆司編集委員です。

本当は景気後退期に入っている？

指標で読むアベノミクス

夕刊2面特集ワイド 11月4日(火)

「アベノミクスの3本の矢を放った結果、賃上げ率は15年間で最高、有効求人倍率も22年ぶりの高水準になっています」。安倍晋三首相＝写真＝は国会や国際会議などの場で、アベノミクスの順調な進展ぶりを強調しています。個人消費が冷え込んでいる現状に懸念の声も上がっていますが、政権側は「消費税引き上げによる一時的な減速」という説明を繰り返しています。しかし、本当にそうなのでしょうか。賃上げ率や有効求人倍率などの指標を専門家に読み解いてもらいます。



第40回記念社会人野球日本選手権大会開催

11月1日(土)～11日(火)



社会人野球の単独チーム日本一を争う「第40回記念社会人野球日本選手権大会」(毎日新聞社、日本野球連盟主催)が1日、京セラドーム大阪で開幕します。今大会は記念大会のため、例年より2チーム多い34チームが出場。7月の都市対抗野球の覇者・西濃運輸、9月の全日本クラブ選手権を制した茨城ゴールデンゴールズの2チームが推薦枠で出場するほか、JR東日本、鷺宮製作所など主要なJABA(日本野球連盟)大会で優勝した10チーム、全国9地区の予選を勝ち上がった22チームが、大阪に集います。夏秋連覇を狙う西濃運輸は初戦の2回戦で茨城ゴールデンゴールズと対戦(6日)。前回4強のうち唯一出場の三菱重工広島は同8強のJFE東日本と対戦(2日)、大会最多35回目の出場となるパナソニックは四国大会、ベールース杯を制した東邦ガスと初戦を戦います(3日)。初出場の日本製紙石巻は1日、西部ガスは5日に登場します。ダイヤモンド旗を賭けた11日間の熱戦を生き生きとお伝えします。

「Tokiko's kiss」

おんなのしんぶん面 11月3日(月)



加藤登紀子さんの対談コーナー「Tokiko's kiss」。今月のゲストは、前滋賀県知事の嘉田由紀子さん=写真=です。ともに、子育てをしながらキャリアを積んできたお二人が、女性の社会進出などについて、熱く語り合いました。写真も素敵です。



寒い朝には温かい朝食を くらしナビ面 11月1日(土)



朝晩の冷え込みが厳しくなってきました。温かい朝食で体を目覚めさせ、元気に1日をスタートさせたいものです。缶詰や市販のスープなどを活用し、栄養バランスも良く、電子レンジで簡単に作れるスープの作り方を、栄養士で日本獣医生命科学大客員教授の佐藤秀美さんに教えてもらいました。

見捨てないで～動物愛護管理法改正から1年

くらしナビ面 11月6日(木)から2回

家族の一員として犬猫などのペットを飼う家庭が増え、動物も高齢化が進んでいます。そうした中、飼い主に、動物を最期まで責任持って飼うよう求める、改正動物愛護管理法が施行されて1年が経ちました。しかし、今もなお、人間の身勝手から、年間16万匹の犬猫が殺処分されています。何が起きているのか、現場を訪ねました。



認知症新時代

くらしナビA面 11月5日(水)付



各国の認知症関係者や研究機関の専門家らが話し合う「認知症サミット日本後継イベント」が5日、東京都内で開幕します。イベントを前に、自らも認知症患者の佐藤雅彦さん(60)に、発症しても安心して暮らせる社会の実現に向けての課題や日本での取り組みなどを聞きました。くらしナビで随時掲載中の「認知症新時代」の番外編です。